



# JACET News

大学英語教育学会

December 2005

The Japan Association of College English Teachers

No.152

[FOREWORD]

## Good Teachers Are Made, Not Born.

関西支部長 岡田 伸夫  
大阪大学

少子化と専門学校人気による大学志願率の頭打ちで、中教審の試算によれば、大学・短大の進学希望者総数は2007年度には大学の入学者定員総数と同じになります。「A大学でなきゃだ」と駄々をこねたりしなければ受験生は誰でもめでたく大学生になれるということです。もっとも高校生の進学志望は一部の大学に集中しますので、正確に言うと、学生を集める大学とそうでない大学の二極化が始まるということでしょう。すでに私立大学の3分の1が定員割れを起こし、大学淘汰という言葉も現実味を帯びてきています。

大学全入時代になると多くの大学は学生の学力低下に見舞われることになります。「分数ができない大学生」「小数ができない大学生」「算数ができない大学生」も出てくるでしょうし、sometimes をソメチメスと発音する学生も出てくるでしょう。

学力低下というのは燃えやすいテーマです。学力低下の有無については教育者も意見が分かれています。深刻な学力低下があると考える人、一切ないと考える人、学力の定義如何でどちらとも言える人と考える人が複雑に錯綜して議論を展開しています。

学力低下の有無を論じることはもちろん大切ですが、もっと気になるのは佐藤学氏の言う「学びからの逃走」です。近年、学生の気質が変わってきています。「教師殺すにゃ刃物はいらぬ。あくびの一つもすればよい」といった生易しい時代ではなくなってきました。宿題はしてこない。予習もしてこない。ノートもとらない。授業内容に関して質問することもない。教員から質問されると「どこですか」と問い返す。何度も手鏡を出して髪を整え、化粧をし、ケータイでメールを送りまくる。教室内を立ち歩き、飲み食いし、極端なケースになると、注意する教員に逆切れして食ってかかる。大教室の授業でなくても学生と教員のコミュニケーションがなくなっているようなのです。

このような学生にどう対処したらよいのでしょうか。解決策が見つかりにくい理由はいくつかあります。新しい処方箋の開発自体が遅れていることもあります。処方箋を絞り込めないこともあります。たとえば、予習をしてこない学生に対処するとしましょう。一方で、どのような動機付けを行えば学生が予習をしてくるかと考えることもあるでしょうが、他方で、学生が予習してこない現状を追認してどのコンテンツを減らせば対処できるかと考えることもあるでしょう。

どのような時代になっても人には学びが必要です。しかし、学びの内容や方法は時代と共に変わります。自省も込めて言いますが、変わらなければならないと思います。「学びからの逃走」の実体は「『今までの学びの内容や方法』からの逃走」ではないでしょうか。

平成 10 年に大学審議会答申『21 世紀の大学像と今後の改革方策について』が出てから FD への関心が急に高まってきました。当初は大学が専門家を招いて研修会を開くといったイベント型の FD が多かったのですが、これからはボトムアップの自律型 FD が必要になってくると思います。地道で試行錯誤的ではあっても、教室における創造的な授業改善の工夫が、長い目で見れば、必ず学生の資質や学力を高めることにつながります。JACET における研究活動が自律型 FD の一形態として定着してくればよいと思います。

このエッセーのタイトルは、American Society for Engineering Education (1968) You and Your Students, Prepared by a Massachusetts Institute of Technology Faculty Committee under the Chairmanship of Professor Robley D. Evans の Preface に出てくる文ですが、授業改善に努めればよい教員になれると信じて精進したいと思います。

第 45 回全国大会のテーマは「授業力 大学全入時代の大学英語教師」です。どんな授業が学生を学びに引き戻すことができるか大いに議論しましょう。

### 本部便り

### 支部便り

#### <北海道支部>

改めまして本年も宜しくお願い申し上げます。学会の繁栄と会員である皆様の益々のご発展を衷心よりお祈り申し上げます。何卒倍旧のご指導を賜りますようお願い申し上げます。昨年 12 月 26 日(月)- 27 日(火)に開催されました組織構成委員会では 1. 学会法人化、2. 会則の見直しと統一、の 2 点を主要なテーマとして集中審議を行ないました。

さらなる検討を春の組織構成委員会等で行ないその結果を公表する予定であります。皆様のご理解とさらなるご協力をお願いする次第です。最後になりましたが事務職員の荒川氏が昨年 12 月をもってご退職になられました。長年の学会への貢献に対し御礼申し上げます。

木村 松雄(代表幹事)

#### 1. 研究会の開催

ESP 北海道「第 1 回公開研究会」

日時：10 月 29 日(土)15:00~18:00

場所：道都大学研究センター

司会：竹村 雅史(函館工業高等専門学校)

趣旨説明：内藤 永(旭川医科大)

「ESP 北海道 2005 年度研究プロジェクト - 北海道の企業及び産業界における英語の使用実態とニーズに関する調査研究」

招待講演：浦野 研(北海学園大)

「ニーズ分析の方法論：Who, What, & How?」

研究発表：

三浦寛子(北海道工業大)

「北海道工業大学建築科卒業生の英語ニーズ調査(中間報告)」

山田 恵 (北海道薬科大)

「北海道内における社会人の英語の使用と必要性に関するインターネット調査(中間報告)」

意見交換・討論コメンテーター:

浦野 研 (北海学園大)・出口拓彦 (藤女子大)

## 第2回研究会

(オックスフォード大学出版と共催による講演会、Grammar and Dictionaries)

日時: 11月7日(月) 18:00~21:00

場所: 北海道大情報教育館

講演:

ヘンリー・ウィドウソン

「優れた用例の設定。英語学習者のための辞書における語義の扱いについて」

マイケル・スワン

「Usage Guides: 言語の移り変わりとともに今日の英語に何が起きているのか」

## 2. 運営委員会の開催

### 第2回運営委員会

日時: 12月17日(土) 14:00~18:00

場所: 北海道大言語文化部

以下について、報告・審議を行なった。

報告:

- (1) 全国理事会について
- (2) 平成18年度支部大会について (進行状況)
- (3) JACET 賞選考委員会について
- (4) 各種委員会報告
- (5) その他

議題:

- (1) 支部規約の改正について
- (2) 平成18年度支部大会について (プログラム詳細、支部大会企画委員、準備日程)
- (3) 20周年記念行事について
- (4) 支部紀要編集委員ローテーションについて
- (5) 平成17年度活動計画、決算について、18年度の予算について
- (6) ニュースレター発行について
- (7) 第3回研究会について
- (8) その他

(河合 靖・北海道大)

## <東北支部>

### 1. 支部委員会

日時: 12月3日(土) 12:30~14:00

場所: 仙台市民会館

東北支部役員会が仙台市民会館第5会議室で開催された。支部通信No. 28の発行(9月)と支部紀要(12月発送予定)について報告された。また、JACETの社団法人化にともなう東北支部規約の改定について中間報告がなされた。さらに、北海道支部との合同支部大会(2006年度7月8日、函館で開催予定)について協議し、承認された。

### 2. 支部月例会

#### (1) 10月月例会

日時: 10月1日(土) 13:00~16:45

場所: 秋田大学

研究発表(1) 津江夏子(秋田大学大学院生)

“The Influence of Language Environment and the Personality Factors on EFL Learners' Willingness to Communicate”

研究発表(2) Sara Cotterall(国際教養大学)

“Learner Autonomy and Culture: Universals and Specifics”

研究発表(3) David E. Ingram

(メルボルン・ユニバーシティ・プライベート)  
“Perceptions in Language Teaching”

約40名の出席者があった。CSCでメルボルンと中継し、活発な意見交換が行われた。

#### (2) 12月月例会

日時: 12月3日(土) 14:30~17:00

場所: 仙台市民会館

研究発表(1) 成沢義雄(東北学院大学)

“Corpus Linguistics: Gender Reflected on English”

研究発表(2) 會澤まりえ(尚絅学院大学)

宮曾根美香(東北工業大学)

『小学校英語活動における課題 - コミュニケーション能力育成の方向性をめぐって - 』

(“Toward the Improvement of Elementary School English Activities in terms of Communication Competence”)

招待講演: 相澤一美(東京電機大学)

『テキスト読解と語彙学習』

(“Reading Texts and Vocabulary Learning”)

約 30 名の参加を得て、活発な意見交換がなされた。研究発表では社会的にも話題となっているテーマに多くの質問が寄せられた。講演は、学習者の語彙力とテキスト読解との関係の詳細な実験データで示した実証的な講演であった。

### 3. 支部通信および紀要の発行

『JACET東北支部通信』No. 28 (9月) が発行された。TOHOKU TEFL JACET東北支部紀要 vol. 1 2005 (10月) が創刊された。A4版、全66ページ。

### 4. 今後の予定

3月11日(土)に支部役員会を仙台アエルで開催される予定である。また支部通信 No. 29 が3月に発行される予定となっている。

(村野井仁・東北学院大  
岡崎久美子・宮城工業高专)

## < 中部支部 >

### 第3回支部役員会

日時：10月15日(土) 13:30~14:45

場所：南山短期大学

報告事項：理事会報告

協議事項：

- 1 12月談話会について
- 2 ニュースレター第15号掲載記事について

### 第4回支部役員会

日時：11月19日(土) 14:35~15:30

場所：東海学園大学大学院栄サテライト

報告事項：支部報告

協議事項：

- 1 授業学研究委員会中部支部代表の交代について
- 2 2006年度支部大会について
- 3 2005年度支部大会会計報告
- 4 支部規約改定について
- 5 支部長選挙について

### 第5回支部役員会

日時：12月17日(土) 13:30~14:30

場所：中京大学八事キャンパス

報告事項：本部報告・支部報告

協議事項：

- 1 2006年度支部大会のテーマについて
- 2 2005年度支部大会会計報告
- 3 支部規約改定について

- 4 事務局業務のアルバイト費計上について
- 5 2006年度役員について
- 6 次回役員会

### 公開講演会 (南山短期大学との共催)

日時：2005年10月15日(土) 15:00~16:30

場所：南山短期大学

講師：John Williams

(映画監督兼プロデューサー・上智大学講師)

演題：Cinema Without Borders

### 支部談話会

日時：12月17日(土) 14:40~17:30

場所：中京大学八事キャンパス

研究発表：

- 1 「第二言語習得における臨界期仮説の実証的研究」

発表者：大森裕實 (愛知県立大学)

鹿野緑 (南山大学)

加藤普由子 (名古屋外国語大学)

- 2 「理工系の学生を対象としたプレゼンテーション授業の一例」

発表者：藤本アダムソン直生

(諏訪東京理科大学)

- 3 「TOEIC リスニングテストへの試み」

発表者：原口友子 (富士常葉大学)

講演：「大学における協調学習の試み」

講師：三宅なほみ (中京大学)

### 中部支部 Newsletter

No.15 を12月30日に発行

(村田泰美・名城大学)

## < 関西支部 >

### 1. 2005年度秋季大会

日時：10月8日(土) 10:00~17:10

場所：神戸大学

テーマ：「最近、となりの授業が気になります

：英語『授業力』を高める」

- 1) ワークショップ1 よりよい大学授業のために  
- 「授業学」を考える Classology: A Quest for Successful English Classes

：高橋寿夫 (関西大), 笹井悦子 (桃山学院大

・非), 東郷多津 (京都ノートルダム女子大),

野村和宏 (神戸市外国語大)

2) ワークショップ2 「音声」を生かした効果的なリーディング指導を探る Exploring Effective Instructions for Reading with the Help of Shadowing or Reading-Aloud Task

: 氏木道人 (関西外国語大短大部), 倉本充子 (広島国際大), 伊藤佳世子 (関西学院大・非), 西田晴美 (関西外国語大・非)

3) 研究発表 8 件、実践報告 1 件

4) シンポジウム

「文学してありますか? 大学英語教育に文学教材は必要なくなったのか」

Moderator: 豊田昌倫 (関西外国語大)

Panelists: 斎藤兆史 (東京大), 若島正 (京都大)

今回の秋季大会は神戸大学を会場に開催された。120 名余の参加者を得て、「最近、となりの授業が気になります: 英語『授業力』を高める」をテーマに、午前中にはワークショップ 2 件、午後には研究発表 8 件、実践報告 1 件、シンポジウムが催された。盛会のうちに終了した。

## 2. 2005 年度第 1 回談話会

日時: 10 月 29 日 (土) 15:00 ~ 17:30

場所: 高槻市生涯学習センター

講師: 水野真木子氏 (千里金蘭大)

演題:

第 1 部談話会

「『コミュニティー通訳』の分野で大学教育にできること」

第 2 部ワークショップ

「通訳養成法の大学英語教育への応用」

## 3. 2005 年度第 2 回談話会

日時: 12 月 10 日 (土) 16:15 ~ 17:45

場所: コープイン京都 2F 会議室

講師: 石川保茂氏 (京都外国語大)

演題: 「『教える内容』以前のこと  
- 授業のスタイル再考 - 」

## 4. 第 3 回研究企画委員会

日時: 12 月 10 日 (土) 10:00 ~ 11:45

場所: コープイン京都 2F 会議室

議題: 2005 年度秋季大会報告

2006 年度春季大会について、その他

## 5. 第 3 回運営委員会

日時: 12 月 10 日 (土) 12:45 ~ 15:45

場所: コープイン京都 2F 会議室

議題: 次期関西支部長選出について、その他

JACET 通信

## 6. 今後の予定

1. 2005 年度第 3 回談話会

日時: 3 月 5 日 (日) 15:30 ~ 17:00

場所: キャンパスプラザ京都 2F 会議室

講師: 林桂子氏 (広島女学院大)

演題: 「外国語学習と親子言語相互交渉および理解のための外国語指導」

2. 2006 年度春季大会

日時: 6 月

場所: 立命館大学 日時等の詳細は未定

ワークショップ、研究発表、実践報告の応募要領は JACET-Kansai Newsletter No. 30、並びに関西支部 HP (<http://www.jacet-kansai.org/>) に掲載。

(嶋林昭治・龍谷大)

## < 中国・四国支部 >

平成 17 年度 JACET 中国・四国支部研究会

日時: 10 月 15 日 (土)

場所: 安田女子大学 6 号館 2 階 CALL 教室

研究発表 [ 1 ] (13:30 ~ 15:00)

司会: 岩井千秋 (広島市立大)

1) "A Cross-cultural Study on English Language Learning Strategies in Japan and Sri Lanka", K. V. Dhanapala (IDEC, Hiroshima Univ.)

2) "Using Mini-Lectures in University English Classes", Roger Nunn and Darren Lingley (Kochi Univ.)

3) 「大学生英語学習者の日本語と英語による complaint 発話行為の比較研究」

野上陽子・岩井千秋 (広島市立大)

研究発表 [ 2 ] (15:10 ~ 16:10)

司会: 高橋俊章 (山口大学)

4) 「Content Management System (CMS) と Questionnaire Management System (QMS) の関係」

横山知幸 (広島市立大)

5) 「関係代名詞の制限用法・非制限用法導入順序の妥当性について - 歴史英語教科書および日本人学習者の習得順序からの検証」

松岡博信 (安田女子大)・中村朋子 (広島国際大)  
(鳥越秀知・詫間電波高専)

<九州・沖縄支部>

1. 第53回東アジア英語教育研究会

日時：7月16日（土）15：30～17：30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：平井清子（北里大）

発表題目：台湾における統一大学入学試験の英語問題と高等学校英語教科書の分析 - 日本との比較を中心に -

2. 第3回運営委員会

日時：7月23日（土）15：00～17：00

場所：西南学院大学学術研究所

議題：

(1)九州・沖縄支部の各種委員会参加補助金について

(2)支部規約の変更について

3. 第4回運営委員会

日時：8月31日（水）15：00～17：00

場所：熊本大学くすの木会館

議題：(1)交通費補助案について

(2)第45回全国大会について

4. 第1回Asia TEFL 2006地元実行委員会

日時：9月24日（土）14：00～17：00

場所：西南学院大学学術研究所

5. 第54回東アジア英語教育研究会

日時：10月1日（土）15：30～17：30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：庄村陽子・金恵鎮（久留米大）

発表題目：第二言語学習者が困難を感じる言語間のずれや問題点 - 日本語、韓国語、中国語、英語の比較から -

6. 第5回運営委員会

日時：10月7日（金）15：00～17：00

場所：熊本大学くすの木会館

報告：(1)来年度の予算案の変更について

(2)支部紀要編集委員会報告

(3)授業学研究会報告

(4)Asia TEFL2006報告

(5)JACET実態調査委員会からのアンケート依頼について

7. 第20回支部研究大会および支部総会

日時：10月8日（土）

場所：熊本大学

大会テーマ：

「多様化する大学英語教育：授業学の視点から」

1) 研究発表

「海外研修が英語学習者の動機づけに与える影響～大学生について～」

山下健太郎（熊本学園大院生）

「国際的人材育成と外国語教育：国際交流の観点から」

石川隆士・東矢光代（琉球大）

「0からのリメディアル教育実践報告」

山内ひさ子（久留米工業大）

「リメディアル授業の一つの試み」

吉重美紀（鹿屋体育大）

「JETプログラム～18年の軌跡とグローバル・ネット～」

宮下和子（鹿屋体育大）

「大学入学試験の語彙研究～センター試験問題のミニ・コーパス分析から～」

猿渡翌加（長崎大院生）

鈴木千鶴子（長崎純心大）

「工業高専における英語教育の現状と今後の展望」

光永武志（熊本電波工業高専）

「LMSを用いた英語学習支援」

安浪誠祐（熊本大）

「The Effects of Project-Based Learning on Learners' Attitude in English Classes」

金岡正夫（鹿児島工業高専）

「The Effects of Conversational Negotiation on Acquisition of English Syntactic Structure」

Sun-Soo Jang (Inje Univ., Korea)

「How Should Web-based Materials be Different from In-class Materials?」

Seonwon Lee

(Gyeongsan National Univ., Korea)

2) 支部総会

3) 特別講演

「多様化する大学英語教育：その認識の仕方と対処法を考える」

森住衛（JACET会長：桜美林大）

4) シンポジウム

「多様化する大学英語教育：授業学の視点から」

コーディネーター：鈴木千鶴子（長崎純心大）

パネリスト：折田充（熊本大） 島谷浩（熊本大）

東條加寿子（九州女子大）

**8. PKETA (Pan-Korea English Teachers Association) (支部派遣)**

日時：10月8日(土)

場所：Pusan University of Foreign Studies

発表者：細川博文(福岡女学院大)

題目：The SELHi Program: High School English Reform in Japan

**9. 第6回ESP研究会**

日時：11月12日(土) 11:00~17:45

場所：宮崎大学医学部

総合教育研究棟情報処理実習室

**1) ワークショップ**

「ESPのためのコーパス分析入門:ESPの特徴語をどう科学的にとらえるか?」石川慎一郎(神戸大)

**2) 講演**

「Effective Reading: an ASP e-learning CALL solution for English language education in Japanese Universities」Benjamin Porter(成美堂・reallyenglish社)

**10. 第55回東アジア英語教育研究会**

日時：11月19日(土) 15:30~17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：津田晶子(九州大院生)

発表題目：九州大学全学英語オンラインシラバス分析 - 「持続的」「継続的」「国際的」な大学英語教育を目指して -

**11. 支部紀要Annual Review of English Learning and Teaching第10号発行(11月30日)**

**12. 第56回東アジア英語教育研究会**

日時：12月10日(土) 15:30~17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：武井俊詳(西南学院大)

発表題目：

海外語学研修環境および条件に関する一考察

**13. 第6回運営委員会**

日時：12月28日(水) 13:00~14:00

場所：西南学院大学学術研究所

議題：

- (1) 春季総会及び春季学術講演会の日程・講演者等について
- (2) 支部ニューズレターNo22発行の時期と内容について

**14. 第2回Asia TEFL 2006地元実行委員会**

日時：12月28日(土) 14:00~17:00

場所：西南学院大学学術研究所

**15. 第7回運営委員会**

日時：1月28日(土) 14:00~16:00

場所：西南学院大学学術研究所

**16. 第57回東アジア英語教育研究会**

日時：2月4日(土) 15:30~17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：石川慎一郎(神戸大)

発表題目：

日韓中等英語教育の達成水準について  
：試験コーパス分析の観点から

**17. 第58回東アジア英語教育研究会(予定)**

日時：3月11日(土) 15:30~17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：米岡ジュリ(熊本学園大)

**18. 第3回Asia TEFL 2006地元実行委員会(予定)**

日時：3月18日(土) 14:00~17:00

場所：西南学院大学学術研究所

**19. 支部ニューズレターNo. 22(4月発行予定)**

(志水俊広・九州大)

編集 山崎敦子(ものづくり大学)

渡邊容子(群馬県立県民健康科学大学)

2005年12月31日発行

発行者 大学英語教育学会(JACET)

代表者 森住衛

発行所 162-0831 東京都新宿区横寺町55

電話(03)3268-9686

FAX(03)3268-9695

E-mail: jacet@zb3.so-net.ne.jp

http://www.jacet.org/